

図3 F-86F 第8航空団 第10飛行隊

第10飛行隊のテイルマークの黄色いイナヅマは第8航空団の「8」をアレンジしたもの。青帯の代わりに赤帯を描いたのが、僚隊の第6飛行隊。1977年、最後のF-86F装備部隊だった第10飛行隊は、F-4EJの受け入れと前後して退役する。

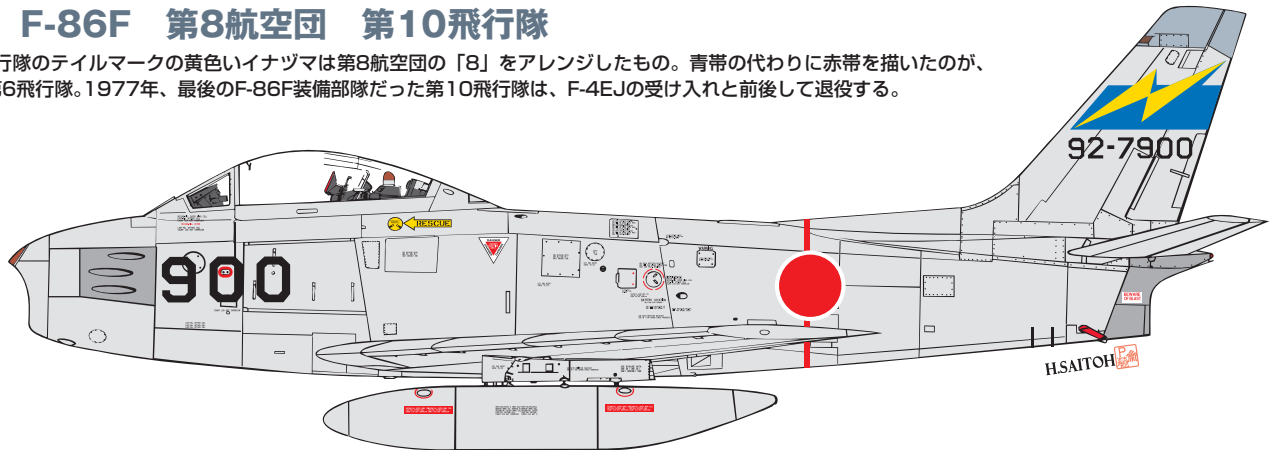


図4 F-86F 第4航空団 第5飛行隊

第5飛行隊の初期の部隊マークで、4空団の「4」をアレンジしている。テイルマークの上方のトランプマークは整備小隊を示すもの。機首から胴体中央にかけても、4と赤帯を描いた派手なマーキングが目立つ。

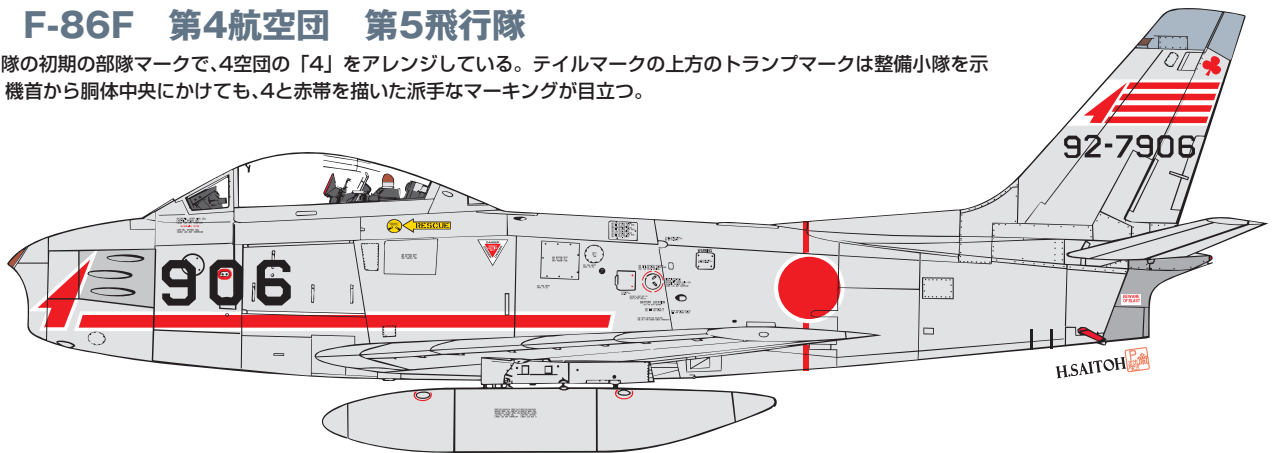


図5 F-86F 実験航空隊

現航空実験団（APW）の前身である実験航空隊（APG）は、おとなしいマーキングだが、凝ったデザインの部隊マークとなっている。

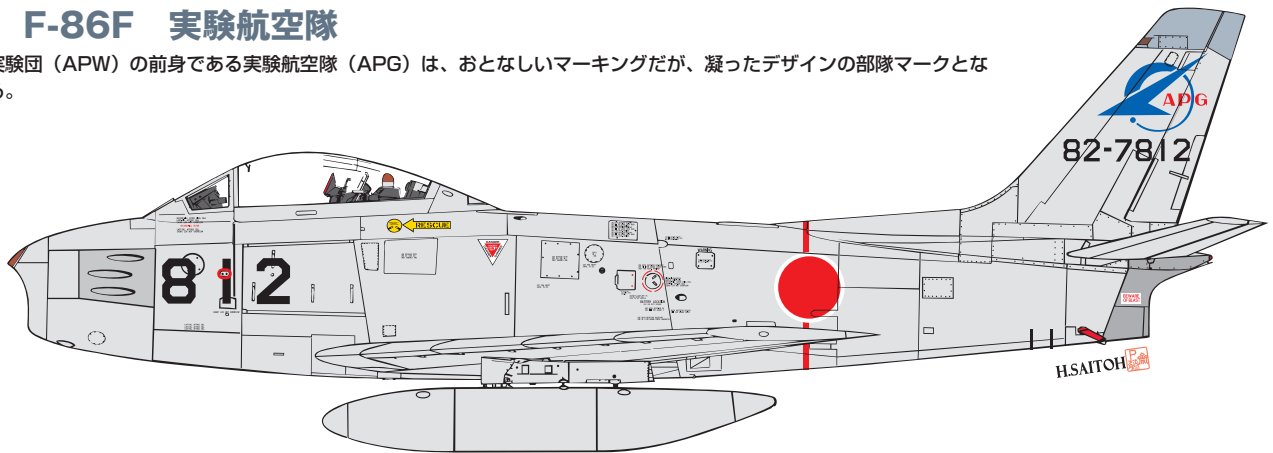


図6 F-86F 第1航空団 空中機動研究班「ブルーインパルス」

1961年からの初期のブルーインパルス塗装。ダークブルーと白の二色帯・模様を描いたが、機首は白帯ではなく、ごく薄いピンク。リーダー機はダークブルー部分が金色に塗られた。主・尾翼も二色の塗りわけで、翼端は赤・白の帯に塗られた。尾翼の黒・黄チェッカーは第1航空団マーク。

